

- 氏名： 南 吉隆
- 会員番号： PE-0284
- 専門分野： Mechanical Engineer
- 業務内容： 発電設備の機械設計

## 1. はじめに

PE 登録体験記の作成にあたり、PE 登録までの道のりを思い返してみると、各プロセスにおいて貴重なアドバイスや多大なご協力をくださった方々の顔が思い浮かび、改めて感謝の気持ちがわきました。現職及び前職の上司や同僚、JSPE 関係者の皆様、そして家族に対し、この場をお借りして御礼申し上げます。

私は大学の専攻が理学系であったこともあり、紆余曲折があったものの何とか PE 登録までこぎつけることができました。私と同じような学歴をお持ちで PE 登録を検討されている方にとって、この体験記が少しでも参考になれば幸いです。

## 2. PE 登録までの経緯

FE 試験受験から PE 登録までの大まかな経緯は以下のとおりです。仕事の忙しさを言い訳に長々と申請準備をしてしまい、PE 登録までに長い時間がかかってしまいました。

各申請ステップについて、私の体験や感じたことを以下に記します。

- ・2013 年 4 月 : FE 試験受験
- ・2014 年 10 月 : PE 試験受験
- ・2015 年 8 月～2016 年 12 月 : CE 申請準備&CE 申込み
- ・2017 年 1 月末 : CE 完了 (結果：不適合)
- ・2017 年 2 月～2018 年 4 月 : Reference Letter 依頼&業務履歴作成
- ・2018 年 5 月 : PE 登録申請
- ・2018 年 7 月 : PE 登録完了

## 3. PE、PE 試験

理学系の学部でしたが、大学院が工学系であったことから PE 登録条件を満たしているだろうと安易な考えで PE 登録を目指して、まずは FE 受験申込を行いました。しかし申込後に JPEC の方から、学部が工学系でないため PE 登録ができるか不明であるが、それでも FE 試験受験を希望するかとの確認のご連絡をいただきました。少し不安を感じましたが、何とかなるだろうと思い FE 及び PE 試験に臨んだ記憶があります。この連絡のお陰で PE 登録までの道のりが一筋縄では行かないかもしれないという心の準備ができたので、今から思えば良かったと思います。

## 4. Credential Evaluation(CE)の準備

大学、大学院共に ABET 認定ではなかったことから、NCEES の Credential Evaluation (以降 CE) を利用しました。シラバスは紙でしか保管されておらず、郵送もしくはメールでの送付は不可とのことから、会社を

休んで大学に行き生協でシラバスを印刷したのを覚えております。

私が把握している限りでは、英文シラバスがない場合の対応方法として、①自分で翻訳して大学側の承認を得る、②JSPE シラバス英訳サービスを利用する、③翻訳会社に依頼する（翻訳会社の証明書必要）、の3パターンがあります。私の場合は、大学が①の対応に応じてくれず、②のサービスが正式に始まっていなかったこともあり、③の方法を選択しました。また、翻訳料を少しでも節約するため、自分で英訳したシラバスの校閲のみを翻訳会社に依頼しました。

何人かの PE 取得者に聞いた限りでは、①の対応を大学に求めるのは難しいようですので、ダメ元で大学に相談してみるくらいの気持ちでいた方が良いと思われます。

CE の評価基準（必要単位数、履修科目）については、NCEES の “Engineering Education Standard” に記載されているので、自分である程度評価できます。また、JSPE が NCEES 学歴評価支援サービスを実施してくださっています。私は少し不安であったため、JSPE の学歴評価支援サービスを利用しました。学部と大学院の両方の履修科目で評価すれば CE の評価基準をクリアできる見込みとの結果でした。

## 5. Credential Evaluation の申請

シラバス翻訳完了の目途がある程度たった時点で CE 申込みを行いました。必要書類は大学や翻訳会社から直接 NCEES に送付する必要があります。

書類が NCEES に届いてから CE 完了までのステータスは NCEES の自身のアカウントで確認でき、私の場合は書類発送してから 1 ヶ月半程度で CE が完了しました。結果は、“Engineering”分野が 7 単位不足しており、「不適合」という結果でした。

JSPE の事前評価や自分の評価で、“Engineering”分野の単位として認められるとされていた科目が “Elective/Other”として評価されていたため、NCEES にそれら科目の講義内容を説明した上で再評価依頼をしました。しかし、NCEES からの回答は、事情を大学に説明した上で大学から直接 NCEES に説明及び再評価依頼の連絡をするようにとのことでした。英訳シラバスへのサインを拒否されたこともあり、こういったややこしい依頼に大学は応じてくれないであろうと思い、評価結果への異議申し立ては取り下げました。

## 6. PE 登録申請準備

CE の結果を受けて、当初登録を予定していたオレゴン州の PE 登録申請条件について詳細に調べることにしました。オレゴン州の登録申請条件は幾通りもあり、一般的には ABET もしくは CE 適合評価+4 年間の実務経験ですが、それ以外に CE で単位不足があっても、PE 指導下での実務経験 1 ヶ月を 1 単位として換算して、単位不足分を実務経験で補うことが可能との記載がありました。また、その他の方法としては、CE を利用せずに全て実務経験だけで申請条件をクリアすることも可能（計 12 年間の業務経歴が必要）であることも分かりました。

単位不足分も含めて必要な実務年数を確認したところ、現職場の PE 指導下での業務年数だけでは、2 年程度不足していることが判明しました。申請を 2 年後に伸ばすことも考えましたが、前職の上長が PE であったことを思い出し、申請への協力依頼をしたところ快諾してくださったので、その時点で申請条件をクリアできる見通しがたちました。

申請書類の 1 つである業務履歴に関する書類については、社内の先輩 PE からのアドバイスを受けながら、業務課題に対する自分の主体的な取り組み方が分かる内容にし、また得られた成果についてはできる限り定量

的に記載するように心がけました。こういった書類の作成に不慣れな場合、どうしても単なる業務紹介の内容になってしまいがちなので、身近な PE の方や JSPE の方にレビューをお願いし、アドバイスをもらうことが得策と考えられます。

## 7. PE 登録申請&登録完了

2018 年 5 月に全ての書類が整い、オレゴン州に資料を発送しました。

NCEES に登録されている情報（FE&PE 試験結果、CE 結果）を NCEES からオレゴン州に連絡してもらったタイミングが不明だったため、書類発送後にオレゴン州に問い合わせたところ、オレゴン州から NCEES の情報へアクセスできるため、何もする必要は無いと教えてもらえました。

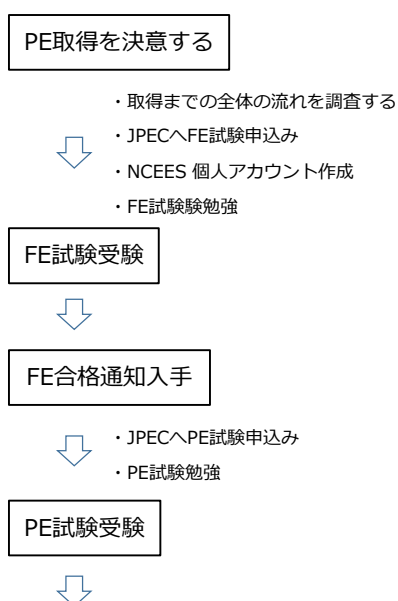
私が参照していた申請書類が最新のものでなかったため、改定前の申請手数料金しか支払っておらず、追加支払の要請がきました。しかし、この連絡は普通郵便で来たため、私が郵便を受け取ったのは米国発送から 2 週間後でかつ指定支払期限の前日でした。クレジットカード払いにしていたため、追加支払書類にサインをし、オレゴン州の担当者に事情を説明して、スキャンした書類をメールで送付して何とか難を逃れました。

州のボードミーティングとは別に定例会議があるらしく、そこで業務経歴についてレビューされ、CE の単位不足分を実務経験で補うことが承認されました。その後、2018 年 7 月のボードミーティングで正式に PE 登録が承認されました。約 2 ヶ月後に Certificate が郵送で送られてきました。先輩 P E から聞いていた州規則の理解度テストの受験要請が一切なかったため、少し不安でしたが最近のオレゴン州への登録体験記を読むと、他の方も受験されていないようですので、登録ルールが変更になったと思われます。

ボードミーティングは 2 ヶ月毎に開催されていますが、上述のように事前審査があり、また申請資料に不備があった場合などは連絡のやり取りに時間を要しますので、PE 登録時期に期限がある方は十分余裕をもって登録申請をされた方が良いと思います。

あと、登録手続きに関する州窓口の担当者はレスポンスも早くかつ丁寧に対応してくれるので、不明な点がある場合はすぐに問い合わせた方が良いと思います。

### 【PE 登録フロー図】



PE合格通知入手



オレゴン州への登録を決める



Credential Evaluation (CE) 申請準備

- ・卒業証明書、成績書、シラバスを大学から取り寄せ
- ・シラバスを英訳し、翻訳会社に校閲依頼  
(英訳を翻訳会社もしくはJSPEシラバス評価サービスに依頼方法もあり)
- ・NCEESのCredential Evaluation申込み
- ・申込み書類(卒業証明書、成績書、シラバス等、翻訳会社の校閲証明書)をNCEESへ送付



Credential Evaluation (CE)



CE結果入手

- ・CE結果は“不適合”(7単位不足)
- ・CE結果を踏まえて、オレゴン州のPE登録条件を調査し、私のケースでは以下のAとBの条件を満たす必要があることを確認
- A. PE指導下での実務経験が4年7ヶ月以上  
(CEが“適合”であれば、必要な実務経験年は4年であるが、CE不適合でも1ヶ月の実務経験を1単位として、単位不足分を実務経験で補える。
- B. 5人から推薦状を入手する。5人の内最低3人はPEとする
- ・登録申請書類を準備し、送付する。  
(業務履歴、CE評価結果、推薦状、登録費用 等々)



オレゴン州へ申請書類を送付



- ・審査状況をオレゴン州のボードミーティング議事録で随時確認

オレゴン州より登録完了連絡を受ける



オレゴン州より郵送されたCertificateを受け取る

以上